

SSKW 働こう障害者も 働けるんだオしたちも

こぶしだより

企画：社会福祉法人 こぶしの会 責任者：藤田 勝春 編集責任者：鈴木 順子
編集：こぶし作業所 (〒321-0902) 宇都宮市柳田町1401番地



役員風景 (こぶし作業所)

特集
こぶしの会の設立三〇年の歩み

No.288



～ 目 次 ～

- ① 特集..... 2～3 P
- ② こぶし作業所のページ..... 4 P
- ③ けやき作業所のページ..... 5 P
- ④ サポートセンターのページ..... 6 P
- ⑤ セルフ・みらいのページ..... 7 P

こぶしの会の設立30年のあゆみ



社会福祉法人こぶし会

理事長 藤田 勝春

一九七〇年代の始め、宇都宮市内

しました。

には、成人の重度知的障害者の通所できる福祉施設はありませんでした。毎日、家に閉じこもり外との交流もなく、親子の閉塞した状態を解決したいとの願いが大きな運動になりました。そして、収容する施設ではなく、地域に住み、家庭から通所して、共に働き、働くことにより仲間と交流し、その能力をお互いに高め合う共同作業所を作ろうとの運動が全国的に広がりました。一九七四年に宇都宮市近辺の障害者、家族、施設職員、学生、主婦等四〇名が集まり、「こぶし共同作業所設立準備委員会」を発足させました。私もこの段階からボランティアとして参加

まず日曜作業所を開設しました。

毎日曜日にボランティアの家に集まり、午前中に針金と塗料でこぶしフラワーを作り、午後から二荒神社前や東武デパート前で建設資金のカンパを呼びかけ、寄付してくれた人へこぶしフラワーを贈呈しました。毎週日曜の街頭カンパはきついものがありました。三〇年前であり、皆が若く、エネルギーに満ちあふれていました。その後、市内の西大寛町に父兄が所有する空いた借家をかり無認可の作業所を開設しました。畳みはぶかぶか、トイレも危険で手直しなどが大変でしたが、独立の城をもった喜びがありました。そこで、

洗濯バサミを作り販売しました。しかし、無認可であるために、行政の補助もなく、せっかく街頭カンパで集めた建設資金も職員の給与や経費に消えてしまい、このままでは、作業所建設運動が消滅する危機にひんしました。

そこで、準備会では、栃木県議会、

宇都宮市議会にこぶし作業所の社会福祉法人の認可の取得にむけての請願署名運動と建設資金の呼びかけを大々的に行いました。この運動は、ボランティア、宇都宮地区労、栃木県労会議などの労働団体や福祉関係労働者、など予想を超える多くの市民の方々に協力していただき、四五、〇〇〇人の請願書を各議会に提出することができました。建設資金も多数のカンパがありました。それから、国会議員による厚生省の請願を行い、社会福祉法人の内諾を得ました。建設資金は満足にないので、現在の柳田町の市街化調整区域で開墾されていない松林七五〇坪を安く買い入

れ、こぶし作業所を建設しました。

そして、建設以来三〇年が経過して、現在の社会福祉法人こぶしの会があります。社会福祉法人こぶしの会は、障害者の働く作業所を越えて、障害者と社会を結び、ともに人間として共生する場所に発展しつつあります。障害者は社会的弱者で保護の対象であるとの福祉の考えから、障害者も人間である、障害は単なる人の個性に過ぎない、ともにその個性を尊重し共に生きて行こうとの社会が作られようとしています。理想は高いのですが、社会の構造を作り変えて行くこととなります。二〇〇五年はその出発になると思います。少しずつ、社会を変えて行く努力を続けて行きましょう。



三〇周年を 祝う集いを 開催



去る二月二十六日(土)宇都宮市の結婚式場アピアにて、社会福祉法人こぶしの会三〇周年を祝う集いが開催されました。

まずは、先ほど出されました社会福祉法人こぶしの会中・長期計

画(第二次)策定のための提言に対するシンポジウム『共生の福祉社会をめざして』です。

シンポジウムでは利用者代表の直井君をはじめ保護者代表、職員、後援会、策定委員そして理事会とあらゆる立場から提言に対しての受け止めや思いを発言いただきました。

「宇都宮の栃木の福祉の先陣を切ってきたこぶしは、これからも先陣を切っていくなくてはいけないのだ!」

という発言が印象に残りました。

その後行われた祝賀会は、各事業所のなかま・職員による、こぶしの会の歌「なかまがいるよ」の披露でオープニングを飾りました。

練習の甲斐あって、歌を作ってくださった「ビューマンファーマーズ」との初めてのジョイントも大成功!!とてもいい歌が出来ました。さて、乾杯の音頭はけやき作業所の佐々木由美さん、二〇〇人を超

える出席者を前に堂々とした姿でした。お祝いのことばは、こぶしからけやきと長い歴史を一緒に歩み、たくさん力をくださった関本孝子さんとステキな歌声でお祝いしてくださいと宇都宮センター合唱団のみなさんでした。次は、おいしい料理に舌鼓を打ちながら、「ビューマンファーマーズ」のコンサートを聴き、一緒に歌ったり手拍子をしたりとても楽しいひと時になりました。

懐かしい再会を喜んでたり昔を思い出したり、三〇年の歴史を長く歩んだ人も少し歩み始めた人も一堂に会したこの祝賀会は、こぶしの会の広さと深さを感じる会になりました。最後にもう一度「なかまがいるよ」を全員で大合唱して祝賀会は幕を閉じました。

たくさんのご参加、どうもありがとうございました。



こぶし作業所ニュース

聞いてみよう！「どんなボランティアさんがもっといい？」

この1年間、こぶし作業所の様々な活動は、ボランティアさんの存在なしには語れません。そこで、利用者のみなさんに、今後もどのようなボランティアさんに来てもらえると、作業所生活が楽しくなりそうかを聞いてみました。

- ・仕事を一緒にやってくれる人。
- ・男の人、女の人どちらもたくさんの方がいいと思う。
- ・グループホームで、お風呂や着替えを手伝ってくれる人が、たくさん来てくれると嬉しいし、毎日同じ生活がおくれる安心感もてる。
- ・グループホームで一緒にお皿を洗ってくれる人。
- ・休みの日に、一緒にご飯を作ったり、買い物に行ってくれる人。
- ・自治会活動日やキャンプ、旅行などの行事に来てもらって一緒に楽しく過ごしたい。

- ・一緒に出かけてくれる人。
- ・おしゃべりたくさんしたい。

このほかにもいろいろ思っていることがありそうですが、共通するのは、たくさんの人と楽しく過ごしたいという思いのようです。ここ数年、行事はもとより、日常の作業日にもお手伝いいただけるボランティアさんが増えたことで、家庭と作業所を往復する生活の中での限られた人間関係に少し幅ができ、その分楽しさが膨らんだことを利用者のみなさんが実感されているのだと思います。

人間関係が広がって行く、また、新しい人を受け入れていく力がついてきていることは、とても大切な自立の要素です。こぶしの利用者のみなさんも、時間をかけ、立派な大人として確かな成長をしていると実感できるインタビューになりました。ボランティアさんお待ちしています。

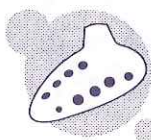
なかまによるオカリナコンサート大成功！！

3月6日(日)に芳賀町工業団地管理センター大会議室で、オカリナコンサートを開催しました。今年度最後の自治会活動は、なかまが中心となり、「何をするのか」、「どこで行うのか」などを計画し、手作りのチケットや会場の準備をしたりして、当日を迎えました。なかなかスムーズにいかず、準備に時間がかかったこともありましたが、無事に開催することが出来ました。

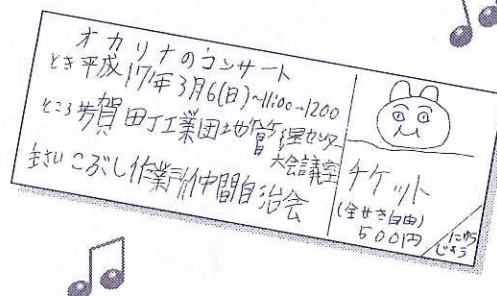
当日は、日頃お世話になっているボランティアさんや保護者の皆さんを招いて、47名の参加となりました。演奏者の石塚正美さんと石塚昭子さんの奏でる音色は、とても美しく、みんな静かに聞き入っていました。「ふるさとの四季」や「となりのトトロ」など、みんなが知っている曲が多く、「たんぼぼ」ではリズムにあわせて踊ったり、一緒に歌ったりするなかまがいました。

また、コンサート後は近くのレストランで食事があり、すごく良かったという話や、準備が大変だったという話が出ていました。もう一度という意見も多く、今回の反省点を踏まえて、できれば第2回、第3回と続けていきたいいなと思います。

最後に、参加して下さった皆さん、演奏して下さった石塚正美さん、石塚昭子さん、どうもありがとうございました。



ちょっとした話：
オカリナは陶器でできたイタリアの民族楽器で、ガチョウの子供という意味だそうです。



けやき作業所

芳賀町祖母井にある

小玉クリーニングさんにて

この度、第2けやき作業所

登録で弁当班にて活躍していた北村雅之さんが、二日間の実習期間でしたが、従業員の方からの評判も良く、真面目な仕事ぶりが評価され、二月末よりめでたく採用が決まり現在にいたっています。

けやきで作業されていた当時も、仲間の話を真剣になつて聞いてくれる優しいところが皆からも慕われており、惜しまれた存在でした。

現在は一人暮らしも始められ、生活も充実し、また仕事のほうも大量の洗濯物の検品作業やタオルたたみなどの補助的な作業中心ですが、毎日休まず張り切って仕事に励ま

れています。

小玉クリーニングさんには以前から、けやき作業所の応援をしていただいております。年の自治会主催の忘年会にも参加していただいたり、後援会活動でも協力をいただいたり、また平成一一年には北村さんの先輩にあたる、仲間の一人も、採用していただいたりと理解のある事業所さんでもあります。北村さんも安心して仕事に取り組むことができます。このことです。

一般就労を目指す他の利用者の方も後に続くよう、今後とも応援していきたいと思えます。



益子養護学校実習生来所

2月の中旬から2週間、益子養護高等学校から4名の実習生が来ました。けやき作業所の先輩に混ざり一生懸命作業をがんばってくれました。



パン製造班親睦会開催

2月5日(土)栃の木ファミリーランドにてパン製造班親睦会を開催しました。多忙なパン製造班ですが、ここぞとばかりにリフレッシュされました。



こぶしの会30周年式典に参加



宇都宮アピアで開催されたこぶしの会三〇周年式典に参加しました。三〇年という歴史の中で生まれた多くの関係者の人数にみなさんびつくりしていました。写真はこぶしの歌を唱う関本正子さんです。

きょうされんプレ企画に参加



宇都宮大学で開催された、きょうされんプレ企画に参加しました。写真は仲間シンポジウムで発表する直井信也さん、司会の佐々木由美さんです。

今日のホリデー

県東ライフサポートセンターだより

ほっとCHA

梅の花があちこちで見られるようになってきましたね。このお便りが届く頃には桜が咲き出している頃でしょうか? 縮こまっていた体をゆっくりに伸ばして、たくさんのお陽の光を浴びましょう!

のんびり、カラオケ

ほっとCHAで行っている毎月の行事ですが、二月はカラオケを行いました。というのも、メンバーさんから「毎月のカラオケDAYでは作業をしているからのんびりと歌えない。日曜日にのんびりと歌いたい!」との希望があり行いました。

当日は一名のメンバーさんが集まり、にぎやかな歌声が響きました。新しいメンバーさんがたくさん歌っていたことがとても印象的でした! ストレス発散に今後も楽しんでください。午後から「シンドバットの七日間の冒険」のビデオ鑑賞を行いました。一番希望が多かったのにもかかわらず、字幕だったために最後まで観ることがなく、途中で断念…。次回からは字幕ではなく、吹き替え版を見つければ!

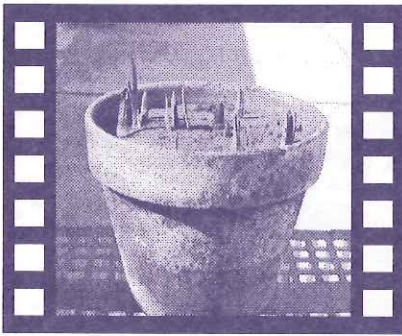


どう過ごして頂けますか? 休日開所

ほっとCHAでは一〇月から水曜日を休みとする代わりに、土、日曜日を開所してメンバーさんに居場所を提供しています。夜間・休日の携帯電話での相談はなくなりましたが、「センターがいっても開いている安心感」はメンバーのみならずにとってもいかがでしょうか? 送迎できる日が限られているために「行きたくてもいけないよ!」という声も届いています。出勤した職員とともにのんびりと話をしたり、ご飯やお菓子を作ったりしています。

今後も休日開所は継続していきますが、メンバーのみなさんからの要望全てにお応えできないこともあるかと思いますが、「〇〇がしたい」「こんなサービスがあったらいいな」という声をお聞かせいただければと思います。

春はもうあじ!
ほっとCHAで栽培中
『水仙』



ヒーブル

益子町は「益子焼」で有名な所で、街のあちこちに陶芸家のお店が並んでいます。

広い益子のあちこちから相談があり、住民の方からは頼りになる存在になっていそうです。今後も悩みを抱えた方々の支えとして頑張ってください。

益子町健康福祉課は、福祉係・介護保険係・保健予防係の三つの係があります。

福祉係では、精神障害者の通院医療費公費負担制度・保健福祉手帳の申請受付、福祉サービスの利用等に関する相談、また高齢者・児童・母子家庭・障害者に関する福祉の相談・サービスも実施しています。

健康福祉課では、親切にいねい、さわやか対応でこれからもサービスを提供していきたいと思えます。

益子町健康福祉課福祉係

高浜 幸 子さん



みらいニュース



12月7日にホームヘルパー3級の資格を取得しました。もともとホームヘルパーに少ししか興味がなかったけど、この講習会に参加してヘルパーという仕事に興味がわきました。そして、いろんな介護の仕事をしてみたいと思いました。(渡辺重晴)



「おいしそう!」「いいにおい」「食べたいな」言葉では表現できないなかまも、心の中ではそんなことを感じているかも知れません。心を感じたことをみんなと共感したいなあ、と3月3日、リサイクル班の皆でホットケーキを作りました。そしてこの後は、もちろん全員でいただきました!! (また作ってえー☆)

セレモニー雲上創業5周年記念 はなびしチャリティー ゴルフ大会盛大に 浄財はセルプみらいに寄付



表彰式は和やかな笑顔があふれた

新聞記事：(3月18日(金)真岡新聞より)
3月9日はなびし企画主催の「はなびしチャリティーゴルフ大会」で静風グループの田尻健司・和子様より、ご寄付をいただきました。ありがとうございました。

ふれあいボーリング大会に出場!

3月3日(木)のひなまつりに選ばれし4名が知的障害者施設協会主催の「ふれあいボーリング大会」に参加してきました。その4名とは伊川さん・久保田さん・長田さん・野沢直人さんです。そのうち久保田さんと野沢直人さんは初めての経験ということで楽しみと不安が入り混じったような表情でした。ゲームがスタートすると、投球フォームを互いにアドバイスし合うなどして仲間同士で大いに盛り上がり、まさに「ふれあいボーリング大会」となりました。残念ながら入賞することはできませんでしたが、久保田さんが60位・野沢直人さんが65位で「とび賞」を受賞しました。来年こそは…!!

<それぞれの感想>

- ・野沢さん
「楽しかったけど、成績が悪かったのが残念」
- ・久保田さん
「楽しかった」
- ・長田さん
「楽しかったな。また行きてーよ」
- ・伊川さん
「また腕を上げて挑戦したいです」



実習生が来ました

3月7日(月)から10日(木)までの4日間、真岡北陵高校教養福祉科の2年生6名が障害者福祉施設実習をみらいで行いました。前半・後半の2グループに分かれ、下請け班とリサイクル班と一緒に作業・活動をしました。実習生の皆さんに感想をいただきましたのでご紹介します。

- 高松さん：短い間でしたが、みなさん優しくとても楽しかったです。ありがとうございました。また来ます。
- 笹沼さん：たった2日間でしたが、とても明るく楽しい作業所でいろんなことを学べました。ありがとうございました。
- 菅野さん：2日間という短い間でしたが、お世話になりました。たくさんの人と出会い、たくさん体験ができました。とても勉強になりました。ありがとうございました。
- 伊藤さん：2日間大変お世話になりました。学校では決して学ぶことのできない体験をさせていただきました。これからの勉強に役にたてたいと思います。
- 橋本さん：2日間という短い間でしたが、とても貴重な体験をさせていただいてありがとうございました。これからも、もっと障害のある方々と交流していきたいと思えます。
- 佐藤さん：2日間があつという間に過ぎてしまい、とても楽しい実習ができました。ありがとうございました。

※この実習で何を学び、どんなことを感じる事ができたのでしょうか。次回、またみらいに遊びに来たときに教えてくださいね。お疲れ様でした。



僕たちのこと
もっと知ってほしい!

ボランティア大募集

けやき作業所では、作業・創作活動・GHなどで、利用者さんとの交流をして下さる方を大募集!

興味ある方は、まず連絡を!

けやき作業所
028-687-1040



こぶし作業所・後援会
ボランティア大募集!

1. 日常の利用者の作業補助
2. キッチン・セルフ (軽食喫茶店) の作業補助
3. フリーマーケットの準備・参加 (毎月第4日曜日)

お待ちしています


お問い合わせ こぶし作業所
☎028 (662) 1911

休日を利用して

体験ボランティアしてみませんか?

○第2けやき・ライフサポートセンターは、なし畑に囲まれたのどかなととてもよいところですよ!

☆第2けやき作業所
☆県東ライフサポートセンター



セルフ・みらい
ボランティアさん募集!!

- 箱折り
- フールの取っ手糸且み (※1-3火曜日AM中)

※詳しくは、セルフ・みらいまで...
☎0285-81-1155



社会福祉法人 **こぶしの会**

- 法人事務局 こぶし作業所 ☎321-0902 栃木県宇都宮市柳田町1401
TEL 028 (662) 1911 FAX 028 (662) 1912
- 生活支援センター ☎320-8508 TEL 028 (613) 5703
E-mail kobusi@chive.ocn.ne.jp
- キッチンセルフ ☎320-8508 栃木県宇都宮市若草1-10-6とちぎ福祉プラザ内
TEL 028 (622) 0966
- こぶしのときわ荘 ☎321-3235 栃木県宇都宮市鑑山町字東原146-7
TEL 028 (667) 5531
- けやき作業所 ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2244
TEL 028 (687) 1040 FAX 028 (677) 5789
E-mail keyaki@carrot.ocn.ne.jp
- 第2けやき作業所 ☎321-3303 栃木県芳賀郡芳賀町稲毛田1532
TEL 028 (677) 0495 FAX 028 (687) 4818
E-mail inageda@fancy.ocn.ne.jp
- 県東ライフサポートセンター ☎321-3304 TEL 028 (687) 0311 FAX 028 (687) 0325
- すずらの家 ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2305-2
TEL 028 (677) 4430
- けやきハイツ ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井178
TEL 028 (677) 2876
- 第2けやきホーム ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井1204-4
TEL 028 (677) 0776
- セルフ・みらい ☎321-4363 栃木県真岡市亀山1043-23
TEL 0285 (81) 1155 FAX 0285 (81) 1177
E-mail selp-mirai@carrot.ocn.ne.jp

発行所 郵便番号 270-0053

東京都世田谷区砧六-二六-二一
特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

定価五〇円